



2/26・3/1 6年生を送る会

全校児童が一同に集まり行うことができませんでした。学年ごとに工夫して6年生の卒業をお祝いする行事をオンラインで見ることができました。

1日目は、1～5年生、翌日は、6年生の出し物を見ました。さすがに6年生出し物を工夫していて驚かされました。6年生への感謝の気持ちで学校中が包まれた日となりました。



パンジー・チューリップ

卒業や入学を祝うため、2年生が春の花を植えてくれていました。体育館前やウッドデッキにきれいに並んで咲きそろった鉢植えの花々がお祝いしてくれています。

3月の生活目標

- ・身の回りの整理・整頓をしよう
- ・1年のまとめをしよう

3/3 NET (Nagisa Enjoy Time)

異年齢のグループで遊ぶ NET。コロナ禍でできませんでしたが、ようやく念願がなって実施しました。遊びは、連続大縄跳びです。いつもと違うのは、どのグループが一番よく跳んだのかを競うのではなく、みんなで目標の回数を超えようというものです。企画担当の子どもに聞くと、練習の時、跳んだ回数の合計をはじめの目標にしたとのこと。2回目の目標は、すべてのグループが1回ずつ多く跳ぶ、つまり28回多く跳ぶ回数を目標値にするというものです。3回とも目標を達成してみんな大喜び。達成感でいっぱい笑顔がグラウンド中に満ち溢れました。的確でみんなの気持ちを大事にした6年生の計画のすばらしさに脱帽です。

3/14 第13回卒業式



制約がある中での卒業式でしたが、晴れやかに66名の卒業生が旅立ちました。立派に卒業証書をもらう姿は、見事でした。それもそのはずです。練習を始める前に、タブレットで証書をもらう手順や振る舞いを撮影し、教室で動画を参考にしながらみんなで真剣に学んで臨んだ式でしたから。困難なことに会っても、今できることに真摯に向き合っ、仲間と協力し、たくましく学び、問題を解決しようとする姿に幾度も勇気づけられました。

そして、どんな時も全力で応援する家族や仲間がいるということ。なぎさ公園小学校が、いつまでもみんなの「心のふるさと」であり続けるということを決して忘れないでほしいと思います。

式の後、卒業生からのサプライズに感動の涙、涙、涙

卒業式のあとのサプライズ

卒業生たちは、3年生の時からいろいろな行事を中心となってする「匠（リーダー）」の取り組みを続けてきました。

卒業式の匠たちは、先生にも内緒でみんなへの感謝のメッセージを創っていたのです。

画面に映し出されたのは、想いでの写真やメッセージ。タブレットの中で卒業式のclass roomを創り、



構成も、写真選びも自分たちで行いました。協力をお願いした数名の先生力を借りてやり遂げたのです。「自分たちのことは、自分たちの手で・・・」を合言葉に、主体的な力を最後の瞬間に見事に見せてくれました。もちろん、担任の先生たちは、涙で言葉にならないほど驚き、そして感動し喜びも寂しさも入り混じった気持ちでいっぱいだったと思います。コロナ禍の中で、なぎさstyleの教育もままならない日々が続く1年間でしたが、困難に直面してもこのようにたくましく、豊かな感性を持ち、自ら前に進む卒業生の姿に感動した一日となりました。ご家庭のお力添えに心より感謝いたします。

なぎさ公園小学校は、
いつまでもみんなの心の
ふるさとであり続けます